広報 こすど
発行所 小須戸町公民館
所在地 新潟県中蒲原郡小須戸町
編集兼発行人 印刷人 矢部藤三郎

わが行く道に光あり

成人式……決意もかたく　四代表の発表

新春、国をあげての行事として最も意義をもつものは成人式であろう。日本国民として生れ育って満二十年、自他共に一人前の人間として認められ、祝福を受ける記念の日である。当町に於ても去る一月十五日、中学校講堂で、栄ある該当若人一三〇名、来賓約三〇名参列のもとに盛大な式典が挙げられた。本年は特に謝辞というような形式的なものでなく、左記四人の成人代表がこもごと立って、自らの感懐と将来への決意を力強く発表し、満堂の参列者に深い感銘を与えた。敢えて紙上に特集し全町の皆さんへ御紹介する次第である。

農業経営の合理化とそれをはばむもの

星名主一

本日町当局が私達のために多数の来賓をお迎えし、成人式をお挙げ下さいましたことは誠に有難く感謝申し上げます。

私は現在農業に従事するものの一人です。中学卒業後すぐ家の農業に従事する片わら定時制高校に学びました。そして労切と通学に明けくれした苦しい四年間に学んだ事は唯一つ「やれば出来る」と云う自信を得た事です。しかし、これは私にとって誠に尊い收穫でした。

ある時私は一体米を作るにはどれ位の生産費が必要なんだろうか、と云う問題を取上げ、一年間かかって統計を取って見ました。

反当り労賃を除いた生産費つまり肥料代、農薬費、公租公課、整地包装代その他合せて約一万四千円そこへ労賃が約一万弐千円で総計二万六千円になりました。

米一俵四千円として、八俵とれて三万弐千円とすると純益は六千円と云う事になりますが、しかし機械の消耗費等を加えた場合、もし少しでも減收したなら赤字の危険さえもあり、これで良くやって行けるものだと私は非常な疑問を感じたのであります。

そしてそれを解決するにはその原因が何であるかを深く追求する事が第一の問題だと考えました。

日本の農業は「田ごとの月」などと云われる程零細で何をやるにも大規模にやる事が出来ませんそのため労力の点では相当な損をしているわけです。

大規模な経営が出来たらいいんだ、と前から私は思っていました、いや私だけでなく皆んなが規模の拡大化を問題にしておりました。だがこの問題は個人的には容易に解決出来る問題ではなく、社会全体が協力し始めて出来るものだと思うのです。それで現在の零細経営から大規模経営にするにはどうしても共同経営が必要になって来ます。最近新聞などでも盛んに共同化という事が云われるようですが、私はそれに大賛成です。

数戸が集って一つの共同経営体を作れば、今迄一諸だった家計と経営が分離され、新しくゆとりが出来る事でしょう。しかしそれにはまだいろいろな問題があります。

農地改革は、自作農を作って生産力を高める役割を果して来ましたが、半面又それが共同化を阻んでいるのです。又現在の農地法では経営の共同化は違反だ、と云う事も聞いています。

結局土地の所有制度を変えなければ、実現は困難と云わなければなりません。しかし何んとかそれを解決し実現するならば野菜果物等の貯蔵加工から出荷に至るまで共同事業として能率化することが当然考えられることです。私は是非これを実現しなければならないと思います。

だが私達のこうした理想と現実の間にはいろいろの障害が横たわっています。

今の農家の大部分がもっている昔ながらの封建性がその一つで、一方では進歩的な発言をしながらも実際面になると中々手掛けようともしませんめざましい科学の進歩は瞬時も休みがありませんぐず／＼していると食糧品だって科学の力で作り出せる時が来るかもしれません、月世界へのロケットのように予想もしなかったものが実現する時代です。農業についても「一歩先んじてやる」と云う事がこれからは絶対必要なのです。

しかし私は、古い事を全部捨ててと云うのではありません。「古くても大切なこと」は新しいものの同様に一つ／＼取上げることは忘れてはならないのであります。

今成人の仲間入りするに当って、私が理想として来た事を今後は、実際に向けるよう、精いっぱいの努力をする事を大きなはこりと自信を持って誓いたいと思います。

祝福と期待に応えるために

大塚昭子

今年が成人だよ、と云われて感じました事をまとまらないまま述べさしていただきます。

成人式、このような盛大な催しをしていただき私達は祝福を受けています。過去に於て新年、入学、卒業等におめでとうと云われ、又私達も云う「おめでとう」とは一体何なのだろうと考えさせられます。二十回の地球の公転に意義あるのでしょうか。過去二十年の無病息災が祝福されるのでしょうか、法律的に一人前としての扱いが歓迎されるのでしょうか、お酒を飲み御馳走を食べる口実の為のものでありましょうか、そのいずれでもないように思われます。

私はこの「おめでとう」に対して何か積極的な意義を見出したいと思います。「これからの私達の可能性が期待され、そして祝福されるのだ」と考えたらどうでしょうか、新年、入学、卒業も又同様な事と思います。私達はその可能性に於て私達を祝福して下さる先輩の方達よりも大きなものを有する事は、物理的に考えても自明の理であります。

このような大きな可能性が期待され、祝福されるのだと云う前提のもとに私達は何を考えるべきであろうか。今私の感じておる事を次の六つの点に於て述べてみたいと思います。

第一に今を契機として広い意味での勉強への劃期的な努力をすべきではないかと云う事です。

「少年老い易く学成り難し」と云われます、この二十年間をふり返ってみますと全く後悔の一語に尽きると云うのは私一人ではないのではないでしょうか、一線の家庭環境問題点を持たない安易な生活態度、未だ地塘春草の夢をむさぼっているのではないかとも思います「稚心を去れ」という言葉を今切実に感じております。

第二に私達には変化の可能性が非常に大きいがより充実したものへの変化の努力をしなければならないと云う事です。

「年々歳々花相似たり歳々年々人同じからず」とか、即ち今年の私達は昨年の私達ではあり得ず、来年は又違う私達であるはずです。その事もよくわきまえてゆかなければならないと考えています

第三には生きてゆく意義、生きてゆく目標をしっかり見つめたいと思います。デカルトが云う、「我思う故に我あり」の心境にはとてもなれませんが私の存在意義を見つけ人生への堅実な目標を待ちたいと考えています。

第四には矛盾を矛盾と考え理非曲直をわきまえた純粋な心を持ち続けたいと云う事です。私達の視界には政治、経済、社会その他あらゆる面に矛盾せる毒柄の如何に多いかと云う事は誰でも感じている事です。しかも多くの人はそうした矛盾に対して、いつの間にか不感症になっています。

「春秋に富む頃とか感受性の強い夢多き頃とか」云われる今の私達は、確かに非を非とする純粋な気持をもっております。長いものに捲かれる事なくこの二十才の気持をいつまでも持ち続けたいと思います。

第五には私達は強くありたいと云う事です。純粋な気持から矛盾を意識し出しニヒリズムにおちいると云う例をしば／＼目にし耳にします。

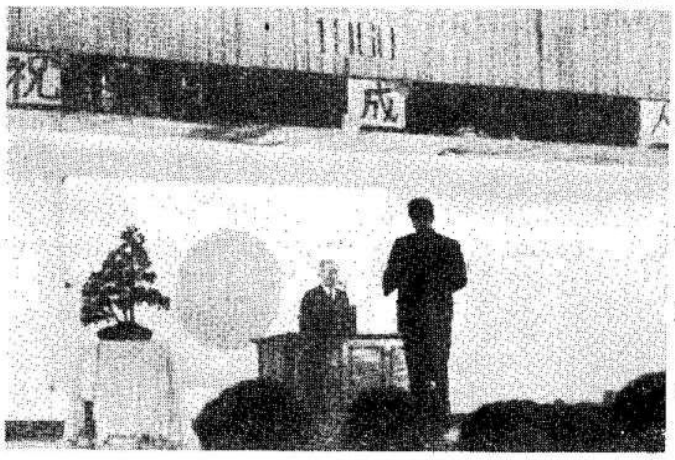
オートメーション化された現代の社会に適応するには相応した強さが必要だと思います。屈辱的な李ライン貧困な政治からくる低い国民所得、かけ声ばかりの所得倍増論未だ残っている封建性からの因習等に対する強さも必要ですし、又「山中の賊を破るは易く心中の賊は難し」と云われますが誘惑に対する強さも必要であると思います。

最後に深い教養よりくる人間形成に努めたいと云う事です。

日本と同じ程度の大きさの農業国デンマークでは、どんな小さな片田舎の家にも必ずピアノがあり、家族はいつでも二部合唱、三部合唱が出来ると云われます。

生活と教養との結びつき、そこからくる人間形成、これは私達の世代のなすべき事の一つではないでしょうか。

以上まとまらないまま述べさしていただきましたが、私達は可能性について祝福を受ける権利と同時に期待に応える義務も又持っているのだと云う事を最後に強調したいと思います。



成人式 35・1・15

成人として恥かしくない行動を

保科和子

学窓を巣立ち無我無中に過しておりますうちに早くも成人の域に入ったのかと自分の事のように思われない私でありますが黄金の年といわれます昭和三十五年の意義ある式典に該当した私は、一生忘れ得ぬ思い出として胸に残る事と思います。

学生生活より社会の一年生になり一年有余を経た現在、一人前になったと云う事で皆様から限りない祝福をうけたのでありますが、人間的レベルにおいても仕事の面においても一人前の取扱いを受けるには余りにも貧弱で、顧りない私のように思われてなりません。

これからは皆様からの常に温い御指導を仰ぎ、修養に励んでまいりたいと念願致しております。

私は高校卒業後直ちに職場に入り、金融事務に就きましたが、学校での学問と社会生活との間に深い溝のあることを痛感しながらも、先輩の御指導によって日々の生活を愉快にすごさせて戴いております。

職場にある私は女性である事に色々とコンプレックスを感じ男性に生れなかった事を悔む場合もありますが、これはいたし方ない事で女性として生れる限りの努力を尽し、与えられた責任を完了してまいりたいと思っております。

私は今、成長期の時期、戦後の食料難の時、父母が栄養に気を配り食卓を飾って喜ばせてくれた事などが走馬燈のように思い出されます。今日までいつくしんでくれた両親の限りない愛情、長い間御指導下さいました恩師、先輩に深く感謝致しております。これからも健康に留意し成人として恥かしくない行動と皆様方の御期待にそうべく努力してまいりたいと思っております。

月ロケット宇宙旅行など、めまぐるしいばかりに移り変る情勢に適格な判断と順応性をもって臨み、より以上の明るい安定した社会の実現を願いたいものです。

幸い町においては新生活運動が推進されようとしております今日こそ、

結婚改善策ととりくんで

吉田郁文

今日成人式にあたり現在私達の青年会で問題になっております結婚改善について、その活動の人達の賛同を得るまでには多くの困難があり、なお一層の努力を必要とするのです。又他の部落との関係などもありますが、この問題は考えればすぐ復雑でむずかしいのです。いくら青年会で改善案を考えても村の二点にしても、果して改善と云って良いものかどうか、はなはだ疑問があり、単に結婚改善の問題に対する糸口を出しただけで、かんじんな本題には何一つ着手していないと云えるのではないかと思うのであります。

実行が物笑いの種になりそこで私達青年会ではこれこそ我々でやるべき問題であると真剣に討論をし合い活動の一つとして、諸先輩と共に取り組んで来たのです。

そこでまず手初めとして婦人会、革新的な青年会で、いわゆる保守革新の論議百出でしたが、結論的には一番やり易い問題から少しずつ解決して行こうじゃないか、と云う事で第一に青年会員が結婚した場合にもらっていた酒二升と菓子代五百円は以後もらわないこと。

第二に嫁入り道具を玄関にかざらない事を申し合せました。

そして結婚式には青年会を代表して、会長副会長が祝に行く事にしたのです。しかし後になって良く考えてみると、代表者だけが祝に行くと云う事になにか割切れない微妙なものがあり、どうも再検討する必要があるのではないかと云う事で現在話し合いが行なわれているのです。いっそ会費制にして御本人から青年会場へ来てもらい、全員でお祝いを上げてはどうかとかいう案もあります

しかし今の所この問題は話し合いの程度で結論を出すに至っていないのですが、近い内には具体案が出され解決を見るものと思います。

以上がだいたいこれまでの結婚改善に対する私達青年会の活動状態ですが、この問題は考えればすぐ復雑でむずかしいのです。いくら青年会で改善案を考えても村の人達の賛同を得るまでには多くの困難があり、なお一層の努力を必要とするのです。又他の部落との関係などもありますが又さきほどの青年会活動の二点にしても、果して改善と云って良いものかどうか、はなはだ疑問があり、単に結婚改善の問題に対する糸口を出しただけで、かんじんな本題には何一つ着手していないと云えるのではないかと思うのであります。

結局最終的に考えて一般村民の教養を高め、けちくさい、こせ／＼した考えを捨て広い豊かな人間性と生活環境を作る事こそ、結婚改善に対する種々の問題を解決する最も重要な打開策であると考えます。

結婚改善、すなわち人間改善であると思うのであります。かたまりきった頭をやわらかくときほぐしてやり新時代の社会はどう進むべきかをうえつけることこそ先決問題であると思うのです。そのために私達若人も心を新にし常に語り合い、手をとり合って町発展のために進んで行こうではありませんか。やがては我々青年会から発した運動が小須戸町全体の運動へと発展することを期待し願いながら。

なぎさ

成人式

こぼればなし

一月十五日、成人式の後帰って来た青年に対しておめでとうと感想を聞いた。議長さんからは今年の成人者は御行儀が長く確立にしているとほめられたという。

なんでもいままでの成人諸君は来賓が「外とう」をぬぎ礼儀を正して若人の門出を祝福して臭れたのに当の御本人はきたまだったという。

寒いせいもあったろうが、少しは我々にして、礼儀には礼儀をもってむくいるのが当然であろう。

それから青年の意見発表があったそうだ、たちかわりはねかわり御説教みたいな来賓の祝辞よりこうした機会に青年の心の広場を与えることは当局も当を得た行事をやったものとかげながら喜んだ。

「富士山に登り自己の測少を深める心の修養は結構のことだ。富士山は日本の象徴とほめる人が多いが、自分は昔の童子教にあるように常に山高きがゆえに貴うとからずと思っている。やはり草木があってこそ尊さがあると思う。「遥美近隣」というのはどうも富士山のようで、自分はこよなく富士山より郷土の草木ある矢田山の方を愛す青年になってもらいたい。

茂太郎

おわび

紙面の都合で一部省略しましたことをおわびいたします。（編集部）

新しい企画と分館の盛り上がりに期待

第13回町民芸能大会の反省

第十三回町民芸能大会は去る十六日、小須戸小学校のステージで午前十時より午後三時まで、観衆約八百五十を集めて行われた。後仕末終了後、四時より音楽室で開かれた反省会に述べられた意見を次にまとめてみると

司会　みなさん、あとかたづけたいへんご苦労さまでした。

ではこれから「第十三回、町民芸能大会について」の反省会を始めたいと思います。

どうか遠慮なしにお話し下さるようお願い申上げます。

A　私は毎年かゝさずにみてきましたが、今年が今までの中で一番力が入らず、練習も不足で低調だったと思いましたね。

B　全くです。それというのも連絡を受けたのが一月に入ってからでしたので準備ができず困ってしまいましたよ

C　それに、出演者がいなくて、頭を痛めました。聞けば、無理に出されるのだったら会をやめると言い出す会員が出たり、協力してくれないのなら役員を辞職するというようなところもあったそうです

司　どうしてそんなに出演をいやがるんでしょうか。

D　周囲の口がうるさいからですよ、踊ったり歌ったりする者は「物好き」だとか「変り者」だとか言われ、特別扱いされたり、変な眼で見られるので、つい引っ込んでしまうんですよ。

E　話は違うかも知れませんが、役員の人たちの出席も少なかったようですし、公民館運動の推進的立場にある方や来賓の方々の姿も見られませんでしたね。

F　だいたい、テレビや映画などがあるので、一般に関心や興味がなくなったのでしょう。

G　だん〳〵に内容の方も同じような踊りばかりで、変化がないのも観に来る人の減る原因になりますね、

H　それに、開始時間からして三十分から一時間くらいも遅れるし、プログラムの順序も入れ替えやさし替えなどですっかり狂ってどれがどれだかわからないくらいですものね。

I　そう〳〵、めくりのプログラムでさえも合っていないのがあったほどでしたものね。

J　それというのも、出演者で時間が来ても集まらない人の多いのがもとですよ。

司　その他、会場の準備等でお気づきの点はありませんでしたか。

K　会場を暗くするために幕を張ったのですが数が足りなくてあっちこっちから借り集めたのですが、何とか揃えてもらえないものでしょうか。

L　スポットライト（投光器）もいりますね、

M　舞台の上にもマイクが少なくとも二つはどうしてもほしいですよ

K　もっと分館の方へ補助が出せないなら、町内や部落からでも援助してもらえるようにならないかなあ。

司　いや、どうもたくさんのごもっともなご批判が出ましたが、今後もこの催しは引き続き行われると考えて、どうすればよくなるかということのご意見をおきかせ願いたいと存じます。

C　その前に、町民芸能大会が、一般の町民にほんとうに必要というか、あった方がよいというか、そうした意見をきいてみることが大事ではないですか。

A　そのような調査もいいでしょうが、それよりももっと〳〵啓蒙宣伝をすべきだと考えますね。趣旨とか目的とかゞ、ぼやけて来ていますよ。

B　本館で、年度の初めに、今年は芸能大会をやるか、やらないかという基本線を打ち出す会議があるはずですからその計画、立案の時に実際に動いてくれる人の意見を十分に取り入れてもらいたいものです。

D　そして、分館でも、事業計画の際に、文化部なり、社会部、事業部、どこでもいゝですが、芸能大会について対策を練っておいたらうまく行くかも知れませんよ。

司　テレビや映画があって、関心が薄くなっているというようなことも、早くからの準備でなんとかなりましょうかね。

J　私はテレビや映画でかえって、自分も出てみたい、ステージに立って何かやってみたいというような気持も強くなっているとみているのですよ。

I　それに一度舞台に上がった人は、この次にも――という気持になるんではないでしょうか。

A　出演者だけでなく、演出者というか、その種目について世話した人も終って控室へ戻ると、もう来年はどうしよう、何をやろうなどと話しているんですから、その気持をずつと持ちつゞけてもらいたいもんだと思いますね

E　やる人はやはり観る人の多い方が張り合いがでるでしょうし、案内状を出すとか、連絡するとかして、公民館の役員の人や町の指導的な立場にある人々から出ていたゞきたいものです。

D　観に来てもらうだけでなく、舞台で何かやってもらえれば、なおさら一般の考え方が違ってきますよ。

司　プログラム等についてはどうでしょうか。

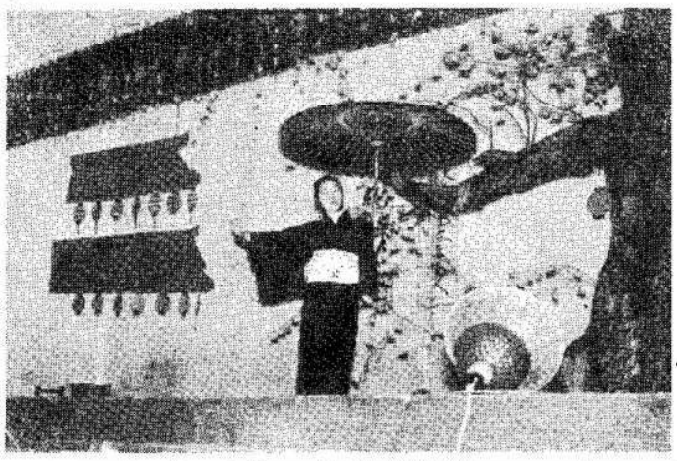
H　出演者に出演の時間を徹底させ、その時間までに必ず集まってもらうことですね。

I　レコードをかける場合には、やはりその責任者の人が、そばについておられた方がいいですね、そうすれば連絡もよく取れるし、不手際もなくなるわけですから――

K　暗幕や、投光器やマイクなど、このような催しに必要なものが、年次計画のようにでもしておい〳〵と揃えるようにお願いしたいですね、

司　反省会が次年度計画の準備会のようになりまして、まことにありがとうございました。

これで第十三回町民芸能大会の反省座談会を閉じたいと存じます。



―町民芸能大会―

小学校四年生の部に荒木洋子さん

珠算大会終る

商工会、公民館が主催した珠算大会は、去る一月二十四日公民館で開催、小学生五十名余り、中学生十五名が集まって日頃の腕をみがきあった。

入賞者は次の通り

△小学校四年生の部

一位　荒木洋子
二位　久保春美
三位　武田鉄男

△小学校五年生の部

一位　新井田四郎
二位　川村田百子
三位　上田英子

△小学校六年生の部

一位　上田敏夫
二位　荒木則子
二位　阿部フミ子
三位　佐藤聖子

△中学校の部

一位　岡崎律
二位　塩野修
三位　島倉紀之
三位　渡辺勇夫

囲碁将棋大会

続成

第二十回町民囲碁将棋大会は去る一月十七日九時より公民館で開催された。

三十五名余りの同好者が集り、大会一日をなごやかに終った。

当日の入賞者は次の通り

囲碁の部

一位　小川孝雄
二位　山口新一
三位　小川久
四位　妻川雪州
四位　大関一衛

将棋の部

一位　中村新作
二位　長井勇策
三位　高橋五作
四位　丸山森美栄
五位　中村勇次郎

新生活推進協議会発足

去る十一月七日に新生活推進協議会の設立總会が開催され

会長　副会長が決定し

理事　監事、参与、幹事は会長、副会長に一任された。

役員は次の通り

会長　宮崎純能
副会長　金沢松太郎
〃　渡辺関司
〃　木村敬三郎
〃　丸山愛一郎
理事　二十七名
参与　八名
幹事　三名

人権擁護委員に宮崎館長さん

昭和三十四年一二月一月附で宮崎純能氏は法務大臣より人権擁護委員に委嘱された。

尚、人権擁護委員の使命は、次の通り人権擁護委員法第二条に明記されている。

人権擁護委員は国民の基本的人権が侵犯されることのないように監視し若しこれが侵害された場合には、その救済のためすみやかに適切な処置を採るとともに、常に自由人権思想の普及高揚に努めることをもって、その使命とする。

石油コンロを御寄贈

横町、梅津久五郎氏は今般斜理研究グループの熟心な活動状況を聞き、これに御協力の意味で、見事な石油コンロ一台を公民館へ寄贈された。関係方面より多大の感謝を受けている。

随筆　続「つり」

田代竿
矢竹

（その二）

平作老は自ら鈎の名人と「時に老は鳥を釣ったが消えてなくなると云うをもって任じている。かそうだが」と云うと途端さびしさに一掬の泪を注それは余りに関しては博学にしどろもどろのていで逃げ出す者があっても国策の邪で経験も積んで居る。釣魔にはなるまい。私の幼稚な頭は干拓費の十分の三時間でも他人の迷惑な釣の話になると二時間でもここに退散するようだが、そはおかまいなしに弁じ好きな人間は案外正直者である。

たてる。しかし猿も木から落ちるというが、さすがの老も一度大失敗をしたことがある。或る日釣りに行って、どうした拍子か鈎が海草の上にのかったのに気がつかずいると水鳥が泳いで来て、好い餌とばかりに、一口に呑んでしまった、釣糸のがついているので水鳥は驚いてバタ〳〵羽ばたきして逃げだした、老は是れには、いささか慌てゝ追いつ追われつ漸く竿だけは取り戻したそうな、それ以来の自慢話が長びく云うべきあの広大な鎧潟

鎧潟はいま大きく変貌しようとしている。国策の干拓事業が推進されて数万町歩の水田が造成されようとしている。戦時でもない今日数十億の国費を投じて田を造らなく干拓工事は遠慮えしゃくなく着工を進めている。

然し鎧潟は依然として淡水魚の増殖には最適地である。あと二三年後には我等愛釣人には昔の夢となるであろう。あゝ慨嘆おくあたわざるかな。

お隣の白根市の有能な市会議員諸公は淡水魚の増殖の趣旨で彼年五万円の予算を捻出して河川に稚鯉を放流しているそうな誠に頭が下がる思いである。是非今後ともこの有益な考えを継続してもらいたいものだ。

愛鱗会の皆さんに紙面を借りて年頭の御挨拶を申上げ新春の大会には健康な拝顔を願っている。

松岡文翁があゝ約五十年何の得るところぞ、失敗又失敗、無駄骨折ったその果が、雑魚釣十年餌釣二十年、自得した正味はほんのぽっちり。ただ健康だけ大量の副産物があったのはまことに名言自感の至りというほかはない。

第23回懸賞クイズ

考えましょう

わたくしたちの町には大字（おゝあざ）○○というのが九つあります。

さあ、どこどこでしょうか、かみからでもしもからでも、また山の手からでも、ひらばからでも、どこからでもかぞえてお答えください。

答は、はがきに書いて公民館内「公報クイズ係」あてに――

〆切は　二月十日

正解者十名に賞品をさし上げます。（正解者が多数の場合は抽せん）

◎先月の解答と正解者

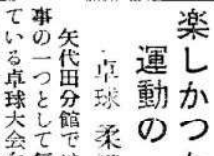
解答

1（うし）
2ヲとら
3ウうさぎ（う）
4リりゅう（たつ）
5へへび（み）
6（うま）
7ヨひつじ
8レさる
9ニにわとり（とり）
10（いぬ）
11イいのしし（い）

正解者

水田相馬務
矢代田木伏ミヨ子
横町三浦惠美子
出雲町中村栄吉
西幸町長沢田鶴子
五ノ町花沢茂
〃　花沢ヒロ子

二月購入図書



◇日本新おんな系図　大宅壮一
◇にくまれ問答　平林たい子
◇かげろう絵図　松本清張
◇黒猫亭事件　横溝正史
◇夢見る沼　井上靖
◇現代女性講座第二巻　魅力をつくる　角川源義
◇日本料理　中央公論社
◇生きている小説　長谷川伸
◇バナナ　獅子文六
◇誤長の椅子　竹森一男
◇日本の歴史(12)（世界と日本）　執筆代表　岡田章雄
◇雷電(23)　尾崎士郎
◇俺は藤吉郎(10)　川口松太郎
◇流氷の街　南部きよ子
◇現代不養生読本　石垣純二
◇青年の樹(一)　石原慎太郎
◇喧嘩白頭巾　九鬼柴郎

町婦人会の講演会

来聴歓迎

町婦人会では、去る二十五日午後七時より、新潟市小合支所長川瀬富明先生をおまねきして「これからの婦人会活動について」の講演会を開催し新時代における婦人の社会における活動や家庭教育のあり方等について多大の感銘を得た。

来月は小須戸中学校長坂井富三郎先生の予定で多数の御来聴をきたいしている。

矢代田分館だより

楽しかつた運動の一日

卓球　柔道大会

矢代田分館では正月行事の一つとして毎年行っている卓球大会を、三日午前十時より矢代田小学校体育館で、百名余りの出場選手によって行われた。

今年は町柔道クラブも共催してくれ、一層の熱戦となった。

成績は次の通り

卓球の部

団体一位　矢代田Aチーム
二位　矢代田Bチーム
三位　鎌倉チーム

一般男子個人

一位　新井田満行
二位　新井田貫治
三位　土田征明

一般女子個人

一位　石本あや子
二位　高山広美
三位　中野ヨシ子
四位　川瀬文子

小中学生男子

一位　高山靖夫
二位　岩崎美樹男
三位　風間勇夫
四位　岩崎美佐樹
五位　簑和賢次郎

小中学生女子

一位　吉井マス子
二位　栗林イツ子
三位　高山栄子
四位　高山マスミ

尚剣道大会は左記の通り予定してあります。

一、期日　二月十四日午前九時より
一、会場　新保分館

柔道の部

団体一位　矢代田チーム
二位　天ケ沢チーム
個人一位　児玉浩
二位　横山世紀
三位　馬場徳栄
四位　木村藤雄

又新保分館でも一月十日の午前九時より分館を会場に卓球大会を行い、成績結果左の通り

一般団体

一位　竜玄Aチーム
二位　新保第五
三位　竜玄Bチーム

一般男子個人

一位　滝沢松男
二位　本望征一力
三位　岩崎
四位　須藤重雄

一般女子個人

一位　齊藤ウメ
二位　米田多鶴子
三位　田沢弘子

小学生男子個人

一位　馬場信太加
二位　五十嵐孝治
三位　白木一男

小学生女子個人

一位　本多キヨ子
二位　美濃洋子
三位　武沢芳子

新年句会報

小須戸町俳句同好会

ストーブの火のはなやかに青畳　虚秋
初鏡だんだん親に似て来しと　水月
自転車の小さき荷にも初荷旗　渓灯
来る人も来ぬまゝにして初句会　香月
参道に除夜の灯が照り続きけり　庄三郎
初刷りの活字大きく匂いけり　竜朗
流き初の使いなれたる櫛を持ち　山葵
隣り家の竹倒れ込み年の春　紫川
盛勢よき売り声店に初荷哉　芳人
抱き締めて乳のます子の初笑　流水